

第08号

2016年
8月22日



Safety Mail

● 滋賀県警察本部交通企画課 ●

県内の交通事故発生状況

《平成28年7月末現在の人身事故》

	件数	死者	傷者
本年	2,967	34	3,701
前年	3,426	46	4,441
増減	-459	-12	-740

〈高齢者の事故〉

※高齢者…65歳以上をいう

	件数	死者	傷者
本年	828	17	483
前年	861	21	569
増減	-33	-4	-86



今年は、昨年比べて交通事故が減少しています。これからも死亡事故や重大事故が起きないように、皆さんの安全運転と啓発活動等のご支援、ご協力をお願いします。

二輪車の交通事故防止



二輪車による交通死亡事故は、例年、ツーリングシーズンの8月から10月にかけて増加する傾向にあります。

二輪車事故は、致命的なダメージを受けやすいので、四輪以上に慎重に運転しなければなりません。

ヘルメットとプロテクターの着用を！



昨年の二輪車乗車中の死者の致命傷となった部位を見ると、頭部が約7割、胸部が約2割で、全体の約9割を占めています。

また、二輪車乗車中の死者のヘルメット着用率は100パーセントでしたが、そのうち半数は衝突時の衝撃で脱げていました。

ヘルメットは正しくかぶり、あごひももしっかり締めましょう。

プロテクターを着用して、胸や腕などを守りましょう。



中高年の皆さん、運転にご注意を！



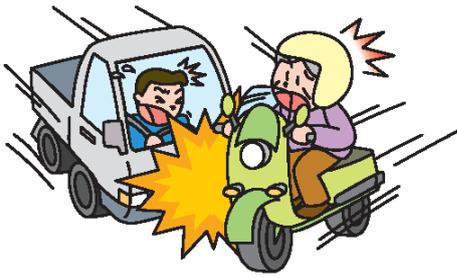
二輪車乗車中の死者は、若年者に加え、近年は40歳から59歳の年齢で増加しています。

原付乗車中の死者は、高齢者で増加しています。

若い時と同じような運転はせず、カーブでは慎重に曲がり、特に、交差点では安全確認を徹底しましょう。

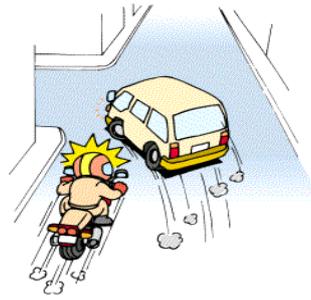
バイク事故の事例

① 出会い頭に衝突



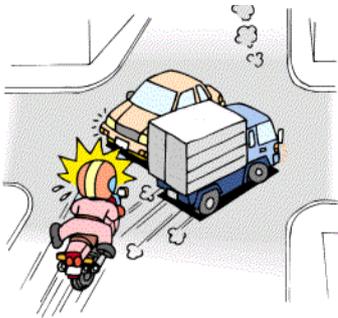
交差点で出会い頭に衝突

② 左折巻き込み



左折する車に巻き込まれ衝突

③ 右直事故



対向から右折する車と衝突

④ 単独で衝突・転落



前方不注意で衝突、転落
カーブで曲がりきれずに衝突

- ◆ 赤色の点滅信号や一時停止の標識がある場所では、必ず一度足をつけて止まったうえで左右の安全を確実に確かめてから進行しましょう。
足をつくのが目的ではありません。止まってしっかり確認するための手段なのです。
- ◆ バイクは四輪車に比べて小さく、死角に入りやすい存在です。
横に並んだ車が突然左折し巻き込まれたり、対向の右折車がバイクに気づかず、または遠くにいると錯覚して右折してくることがありますので、交差点では危険を予測し防衛運転に心がけましょう。



スマホを見ながらの運転は違反です！

スマホを見ながら車やバイク、自転車に乗ることは道路交通法違反です。



事故事例

発生日時 7月下旬
発生場所 大津市



車を運転中に、スマホゲームに夢中になって前車に追突
3台の玉突き追突事故となり、前の車に乗っていた人が負傷

事業所内に掲示するなど、多くの方々にご覧いただけるようご協力ください。

TEL 077-522-1231 (代表) Eメール x0022@police.pref.shiga.jp